

児童福祉司（3～4年目）Ⅱ

日程 1月31日（火）、2月7日（火）、8日（水）

対象 メインターゲット：児童福祉司3～4年目の職員

子ども家庭福祉行政に携わる職員

（特別区児童相談所設置後間もないため、経験年数・職種にかかわらず受講対象としています。）

ねらい 児童福祉司（3～4年目職員）として求められる専門的な知識・スキルを身につけ、的確な調査・アセスメントを通じた相談援助、他職種・他機関との連携に基づく調整、支援、困難事例への対応等ができる実践的能力の向上を図る。

場所 特別区職員研修所（千代田区九段北1-1-4 東京区政会館別館）

日程	教科目・講師名（敬称略）
1月31日（火）	9：00～17：00 解決志向アプローチ（講義・演習） 解決志向アプローチやカウンセリングの基本技法などについて、講義やロールプレイなどの演習を通して学びます。 立正大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 鈴木 浩之
2月7日（火）	9：00～12：00 保護者とともに作る子どもの安全づくりの実践報告（講義） 対話を通じて家族の強みを引き出し、子どもの安全を保護者と共有、実現するプロセスについて実践報告を通して学びます。 東京都児童相談センター 職員
	13：00～17：00 親子再構築支援①（講義・演習）
2月8日（水）	9：00～17：00 親子再構築支援②（講義・演習） 虐待対応の現場では、子どもの命と安全を守るため、リスクに配慮しつつ子どもが再び安心して家族の元に戻る家族再統合を「調和的」に実現していくことが求められています。そのためには支援者が保護者の強みを引き出し、家族自身が主体的に子どもの安全を構築していくことが不可欠です。これを実現させるための肯定的な親子への対応について演習を交えて学びます。 そだちと臨床研究会 代表 菅野 道英